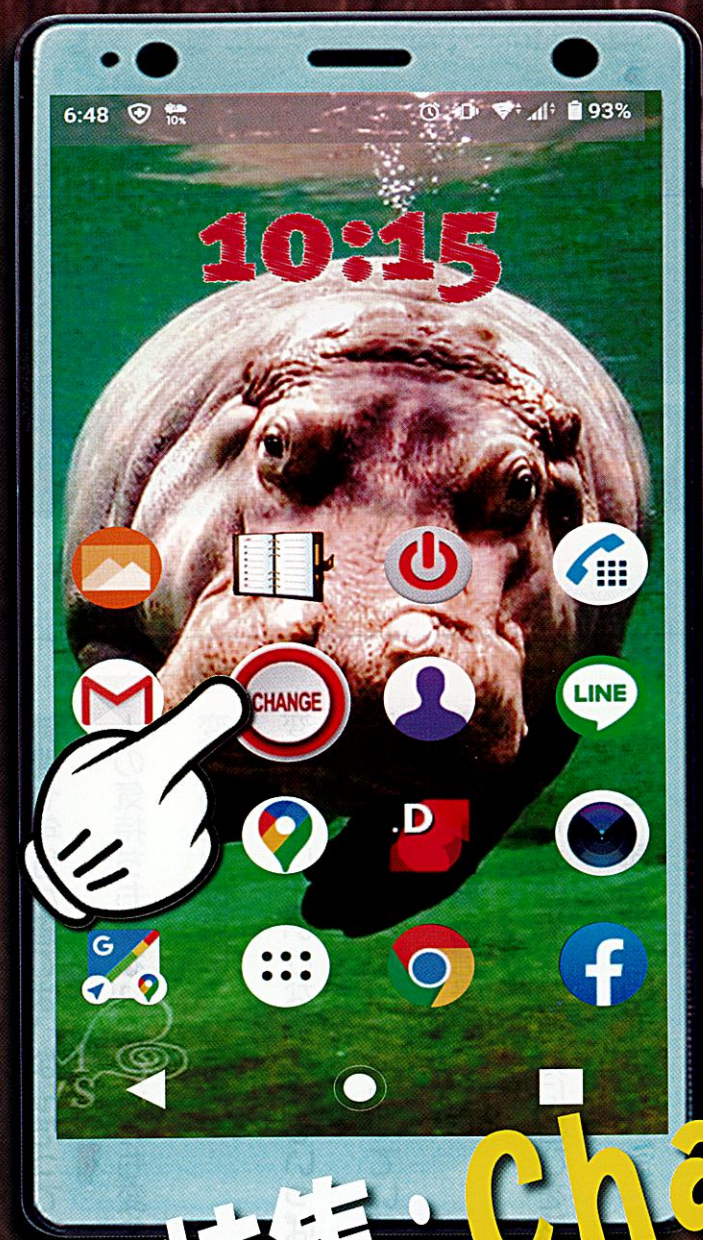


Now

Vol. 21

2020.10.15発行



特集: Change

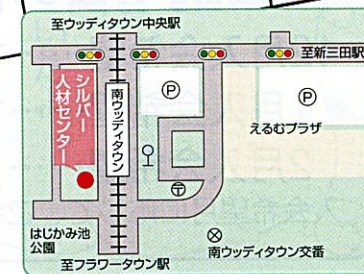


〒669-1323
三田市あかしあ台5丁目32番2号

公益社団法人 三田市シルバー人材センター

TEL : 079-564-7501 FAX : 079-553-1300

HP : <http://www.sandasc.org/> e-mail : sandasilver631015@sandasc.org



公益社団法人 三田市シルバー人材センター

Changeの向こうに幸せが…?

「チェンジ」と聞いてすぐに頭に浮かぶのは、少年時代のヒーローが変身するとき、「チェンジ!スイッチオン!ワン!ツー!スリー!」と叫んでたこと。

掛け声とともに、無敵のヒーローに生まれ変わるのです。

ヒーローばかりではなく、「チェンジ」=「変わる」で、いろんなモノが変わります。

たとえば、髪型や服装を変えたイメージを変えることもあれば、家電や車を買って生活を快適に変える人もいます。

古民家をカフェにリノベーションして、多くの人々が癒される空間に変えたり、昨夜の残りを再利用して、無駄なくおいしく食べれる料理に作り変えたり、職場でも新たな機器やシステムを導入して、効率のいい職場に変える人、何かの壁にぶち当たって、自身の考え方や周囲の人間を動かして困難な状況を変える人もいます。

「チェンジ」の向こうには、明るい未来や希望が見える、変化の後には更に良いことが待っている、そんな言葉じゃないかと思ってしまう。



逆に、悪い方向にかわるパターンの「チェンジ」もあるのだろうか……?

あったとしても、それも「チェンジ」って言うのかな?

まあ分からないけど、前向きな「チェンジ」について考えましょう。

良いことが待っているのなら、早いうちに「チェンジ」できればいいのだけれど、なかなかできない場合もあります。

「新しい車が欲しい…でも、先立つものが…」と言うこともあるでしょう。

「今の困難な状況を打開したい!でもアイデアが浮かばない、問題が大きすぎる。」…

でも、一番の問題は、自分自身が変わることかも知れません。

「まずは悩む前に行動してみよう。」「経験者に相談してみよう。」「シミュレーションしてみよう。」「資料だけでも取り寄せてみよう。」

ちょっとでも自分自身が変わって (change)、新たなことに挑戦 (challenge) し、好機 (chance) を掴むということもあるようです。

危機に遭遇した時、躊躇なく「チェンジ!」って叫んで、変身できるヒーローとは違い、普通の人にはそんな簡単に変わらないけど、悩みながら時間をかけて、じっくり「チェンジ」するのもいいんじゃないでしょうか?



change



「俺は、変わらないよ!」



「あなたは、変わってしまった…」
「もう、昔のあなたじゃなからわ…」
映画やドラマでよく聞くセリフ
時間や年月が経てば、なんたって変わる
人の気持ちも変われば、流行も変わる
変わることは悪いことか…
変わらなうことはなうこともうちはある
平穏な日々にとどまりたい
思考回路が黄色信号
昨日よりも進歩した自分に喜びを感じる
…って、誰かが言ってたな
Revolution じゃなくてもいい
毎日「ふんわり」 「何かを」 Change!
小さな「革命」起すのもいい

気分を変えて CoffeeBreak

自転車工房 エコー 古民家茶屋 花乃舎

三田市小野216-2

明治後期に建てられた古民家に、4年前に吹田市から家族で移って来られました。

ご主人が「自転車工房 エコー」、奥様と娘さんが「古民家茶屋 花乃舎」を担当されています。

自転車工房は、古民家右手にあり、フレームはもとより、カラーやロゴなどもフルオーダーで作られる、世界に1台の自転車で、クロムモリブデン鋼と言う素材を使用することにより、しなやかに乗る人にフィットした走りを体験できるそうです。

車体に記してある製造番号をネタに、初対面同士でも話が盛り上がるのは、「オーナーあるある」だそうです。

元々、モノ作りが大好きで器用なご主人は、掛け時計、バイクフレーム、ウクレレ、カヌーまでいろいろ手掛け、頼まれれば何でも作られるそうです。

興味のある方は、是非試乗してみてください。
TEL:079-506-7252

「古民家茶屋 花乃舎」は、元々の間取りを利用されており、広々とした和室は、おばあちゃんの家のような懐かしさを感じます。

所々に奥様手作りのステンドグラスや、ランプ、柿渋の染め物が飾られていたり、落ち着いた趣の中にも、明るくてモダンな雰囲気を漂わせています。

娘さんが以前、飲食関係でお仕事をされていたこともあり、カフェをすることになったようで、料理は奥様、飲み物とスイーツは娘さんの担当です。

地元の食材を使ったランチメニューと、ゆったりとした時間を満喫することができます。

3匹の猫ちゃん(バジル、シナモン、山椒)のお出迎えもありますよ。

TEL:080-5630-5119



ギャラリー喫茶 トークゆうゆう

三田市三田町35-21
TEL:079-559-0804

本町通商店街の一角にある「トークゆうゆう」は、奥にすーっと長い古民家で、失語症の方々で作られた陶芸作品や絵画を展示するギャラリーも兼ねた喫茶店です。

30年ほど前に、所長のご主人(理事長 田中昌明さん)が失語症になったことをきっかけに、失語症の人たちの仲間づくり、広く一般の方にも失語症を知ってもらえる交流の場を目標に「三田失語症の会 グループしゃべろーよ」を発足。その後の2004年に、創作活動とギャラリー喫茶を中心に運営する、「トークゆうゆう」

をスタートしました。2018年からは、工房でパンやメレンゲラスクの製造販売を行うなど、失語症の方々の就労支援に向け、より一層、ギャラリー喫茶の運営に力を入れています。

お近くにお越しの際は、落ち着いた店内でギャラリーの作品に癒されながら、ゆったりとした時間を過ごされてはいかがでしょうか。

ちなみに、お店のコーヒーカップは全てオリジナルとなっています。

毎週水曜日は「パンの日」で、北海道産の小麦粉と四つ葉バターを使った安心安全の美味しいパンを、ギャラリー喫茶や、市役所「きらり」で販売しています。



Love&Change



★人生どん底時代

バブル期の終わり頃、奥様が乳がんを発病されたことが判明し、埜中さんは一旦仕事を辞めて、奥様の看病と共に、あらゆる事に手を尽くして、奥様に愛情を注がれました。そんな時、ご自身のお父様が亡くなられ、更に追い打ちをかけるように、闘病中の奥様も看病の甲斐なく他界されてしまいました。最愛の家族を立て続けに失い、人生最大のどん底に落ちてしまった埜中さん。51歳の時でした。

しかし、落ち込んでばかりもいられません。今度は、残された二人の息子さんの将来のために、もともとパティシエだったこともあって、パン職人に始まりホテルのレストラン、老人ホームの食堂など、たまには損な役回りも引き受けて、飲食関係の仕事で奮起され、見事に復活することができたのです。

★訪れた人生の転機

仕事に家事に忙しかった埜中さんは、寂しく食事を摂ることもしばしばで、ある時、保

今回は、山あり谷ありの人生を歩まれて現在の薔薇色のハッピーライフを過ごされている埜中雄さん(69歳)にお話を伺いました。

険の加入でお世話になった女性外交員を思い出し、昼食に誘われたそうです。意気投合した二人は、ほどなく交際が始まり、月日とともに結婚への思いが募ってきましたが、そこにはひとつの問題が：彼女は、ひと廻り以上年下だったのです。当時、59歳の埜中さんは、お互いの家族に当初は猛反対をされましたが、ご自身の愛を貫かれ、家族の理解を得て、めでたくゴールインすることとなりました。

★転職成功の裏側に

転職を考えていた奥様に、今の会社を勧めたのは、埜中さんでした。



奥様の人柄や素質を見抜いてのアドバイスは、深い愛情を感じます。

今では、周囲からの信頼も厚い店員として、日々はつらつとお仕事されているようです。

そんな奥様も、ご主人の外出時には、洋服のコーディネートでサポートするなど、お互いに愛情で支え合った、うらやましいほどのベストパートナーです。

★更なるチャレンジ&チャレンジ!

既に現役を引退していた埜中さんは、67歳の時に新たな仕事を求めて、シルバー人材センターの門をたたかれました。

そして、今までの経歴とは全く関係のない、機械除草に挑戦することを選択されたのです。

大変きつい仕事でもあるのですが、目標となる先輩方に追いつくことと、ポジティブに気持ちを切り替えることで、楽しんでお仕事されているようです。

たとえば、お弁当を青空の下で食べるときは、『毎日ピクニック』、全身を使う作業は、『無料のトレーニングジム』また、常に『依頼者からの感謝の笑顔』を想像することで、自分自身もハッピーな気持ちで作業ができるのだそうです。

結婚して10年が経ち、来年70歳を迎える埜中さんの夢は、アメリカの、アンテロープキャニオンや、モニュメントバレー、ルート66をキャデラックのオープンカーで走ることだそうです。

実は、埜中さんは、50年代のアメリカスタイルが大好きで、ジーンズはリーバイス、メガネはレイバン、更に当時のジャズを、お気に入りのスピーカーで聞くことなど、こだわりの一面もあるようです。

毎朝、ご夫婦で世界中の人々に感謝をするという埜中さんの人生は、ポジティブなチャレンジと、変わらない「愛」に満ち溢れていました。



あなたも、シルバー会員になって

生活スタイルをチェンジしてみませんか？

三田市内にお住まいの60歳以上で、健康で働く意欲がある高年齢の方に、ご入会いただき、それぞれの希望に応じた仕事を紹介するところです。

「ハローワーク」でのご紹介や、人材派遣業とは違い、生活を支えるような収入を得ることはできませんが、お小遣い程度の収入を得たり、地域社会に貢献したり、ご自身の健康維持・生きがい作りとして、お仕事していただくことを目的としています。

入会には、「入会説明会」への参加が必要です。



change



入会説明会のご案内

毎月第2金曜日の、午後1時半から、当センター事務所で開催しています。

前日までのお申し込みが必要です。

コロナウイルス感染予防のため、人数制限をさせていただいておりますので、定員オーバーの場合は、次回のご案内となる場合があります。

入会説明会の日程

12月入会希望……11月13日(金)

1月入会希望……12月11日(金)

2月入会希望……1月8日(金)

入会希望月に応じて、ご参加ください。

新鮮野菜販売

当センター事務所の1階では、会員が作った新鮮野菜を、お安く販売しています。

産地直送の美味しい野菜を、ご家庭の食卓に是非どうぞ！



身近なところで いろいろな change

シルバーのお仕事

シルバー人材センターでは、ご家庭でのちょっとしたチェンジをお手伝いしています。



包丁研ぎ

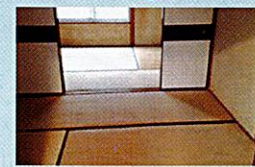


植木剪定

すっきり爽快！



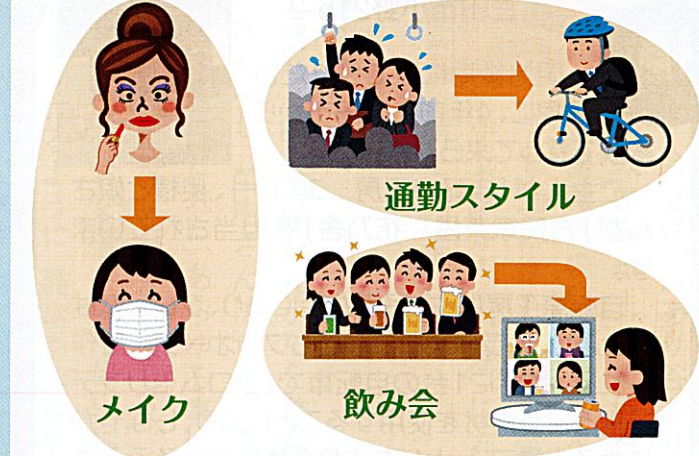
掃除



お気軽にご相談下さい。

Before After

コロナウイルス関連



メイク

飲み会

昔と今



お支払い

お買い物袋

映画鑑賞

VOD

笑顔が増えたよ

ねえねえ お母さん おはよう もう朝だよ

早く起きて起きて お腹空いたよ

ごはん 食べたいよ

うーん もうちょっと寝かせて

ごはん ごはん 起きてよ！

わかった ごはんの用意するね

わーい やったー

ワタシね ごはん 可愛いね いい子だね

それとお母さんの

四つのごとば 覚えたよ

あなたが 家に来て 一年やね

笑顔の 時間が 増えたよ

元気で 仲良く 暮らそうね

ニヤ ニヤアー ニヤーン

